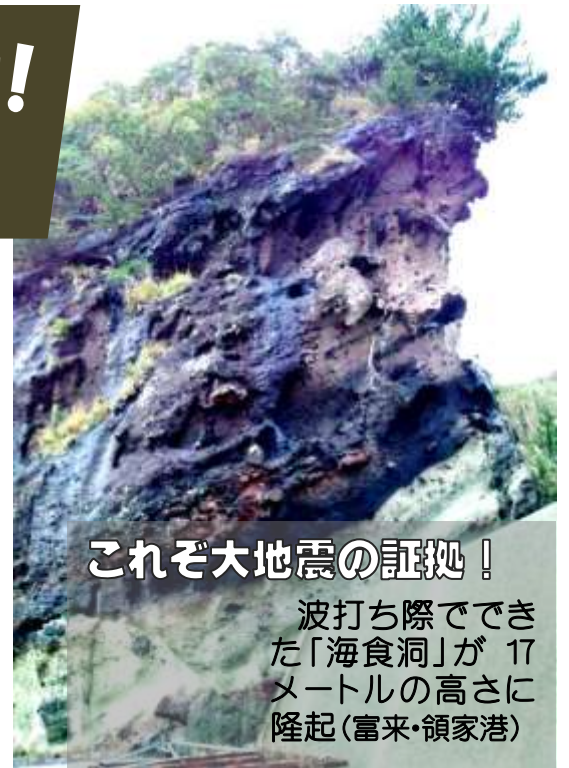


# 「富来川南岸断層」は活断層です!

徹底調査なしに再稼動申請などもってのほか

## 日本共産党能登地区議員団で政府交渉



これぞ大地震の証拠!

波打ち際でできた「海食洞」が17メートルの高さに隆起(富来・領家港)

6月27日、日本共産党能登地区議員団(7人)と中谷松助党志賀支部町政対策委員らが、日本共産党井上さとし参議院議員とともに経済産業省・原子力規制庁に、志賀原発北9キロにある富来川南岸断層の科学的な調査を北陸電力にさせるとともに、規制庁としても調査するよう強く求めました。

## 原発の町にこそ日本共産党議員が必要

市田忠義副委員長も激励に駆けつけ

「とことん聞いて語ろう会」(9/6)



「『共産党』の名前が良くない」の質問に、市田さんが、「戦前から一貫して戦争反対と民主主義を掲げてきた先輩たちの血と汗が結集している名前です。中谷松助さんががんばれるのも、国民の苦難解決が立党の精神の共産党員だからこそ」と答えました。



## 志賀原発で福島のような事故が起きたとき

**みなさん** どこに、どうやって逃げるか、町から説明ありましたか? 逃げられますか?

町民 20,700 人の避難体制が作れなければ、志賀町として、「再稼動はしない・廃炉にすること」を北電に求めるしかないのではありませんか!

## 志賀原発は廃炉にすべきです!

### 5つの理由

- 1 志賀原発直下・周辺には多くの活断層があり、大地震発生の恐れがある。
- 2 福島のような事故が起これば原発以北の奥能登住民は避難できない。
- 3 原発の炉型が福島と同じで、冷却できなくなると苛酷事故に至る欠陥原子炉である。
- 4 そもそも北陸地域の電力供給に不要。原発なしで電気は足りている。
- 5 臨界事故を7年間も隠しつづけた北陸電力に原発運転の資格なし!

## 北電にも、国・県・町にも、はっきりとモノいえる日本共産党議員を志賀町議会に!

一貫して原発建設に反対し、原発ゼロ・廃炉と自然エネルギーの普及を主張する党を躍進させてください。